

平成26年度自己評価結果公表シート

社会福祉法人 光輪会
なかよし保育園
第二なかよし保育園

1. 本園の保育目標

『耐える心と乗り越える力』を培う保育を目標に、心身共に健康で心豊かな園児の育成を目指します。

(1) 挨拶のしっかりできる子ども

挨拶はコミュニケーションの第一歩です。明るく元気に誰にでも挨拶が出来る子どもを育てます。

(2) 人の話をしっかり聞ける子ども

乳児期から絵本の読み聞かせを多く取り入れます。落ち着いた環境の中で、人の話を聞く態度を身に付け、自分で表現する力を育てます。

(3) 元気になかよく遊べる子ども

散歩や戸外遊びを通し、四季折々の自然に触れのびのびとした環境の中で、遊びを見つける力、遊びを生み出し発展させていける力、無から有を生み出す力を育てます。

(4) 根気強くやり通せる子ども

子どもの可能性を信じ、色々な事に取り組み小さな頑張りを褒め、最後までやり通す意欲を育てます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って園自ら、保育士自らの目で客観的に自己評価を行い、来年度より実施されるこども・子育て支援新システムへの対応を検討し、義務教育及びその後の教育の基礎が培われるよう、保育の質を高めるために常に向上を目指します。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
① 保育理念・方針の明文化と周知	園の理念、方針、目標は、新旧入園説明会や、園見学などの機会を使い資料を作成し、施設の説明とともにしている。
② 子ども・子育て支援新制度への対応	研修会に出来るだけ参加し、またほよう会等の園長の機会に他の園長先生たちからも具体的な情報を得るようにし、慎重に進めて参りたい。
③ 職員の資質・保育の質の向上	主に研修等によって向上を図るように努めている。園内研修では、担当の職員を置き、必要な研修を計画し実行している。園外研修では保育協議会等々の研修に積極的に参加している。
④ 保幼小の連携	所沢市幼児教育振興協議会の研修等に参加し連携を図っている。近隣の小学校とは新1年生の入学時に話し合いを設けている。
⑤ 防災・防犯意識の向上	毎月避難消火訓練を行うことや、防犯訓練を行い、緊急時の対応を訓練している。

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

毎月の職員会議や、ケース会議、行事会議等を利用し、保育内容の確認・見直し等を行い取り組むべき課題や、子ども達の状況、園の方針を職員皆で共有する事が出来た。職員1人1人が自己評価を通して課題も具体的に確認できていると感じている。

園外研修等にも積極的に参加し、社会の動きもおぼろげながら職員も感じ取れたようだ。今後も専門性を高めて行けるように計画して参りたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
職員のより一層の資質向上	職員の資質向上のために研修会・園内研修において必要な専門性の向上が図れるように研修を計画して行く。
新制度への理解促進	保護者にきちんと伝えていけるように新制度に関しては園内研修や、自己学習等を通して理解を進める。
保育計画の編成	子ども達により良い保育を提供できるように現状に満足せず、子どもの状態に即した計画の立案を今後ともしていく。

6. 評価項目の光輪会関係者評価

評価項目	評価
3-①	行事に出席した際に、職員の姿勢等や子どもたちの様子から、理念や方針が保育に反映されている事が感じられた。
3-②	研修会の参加等により、理解を深め準備を進めている事を評価したい。待機児童問題解決や、保育の質の向上を期待したい。
3-③	内部及び外部研修共に充実している様子が伺える。 研修に参加できなかった職員にも内容を周知したり、職員会や行事の反省会を通して意見を出し合ったりして、引き続き向上に努めてもらいたい。
3-④	保幼小の交流研修会に参加する事により、職員間の連携・人脈作りが期待できる。子どもたちが新しい環境へスムーズに順応できることへの配慮を評価したい。
3-⑤	いつ起こるか分からない災害等に対し、園児の安全を最優先に考え、安心して保護者が子どもたちを預ける事が出来るように努力をしている事が伺える。また、地域の防災訓練への参加や地域の避難場所としての役割を果たす園の取り組みに感銘を受けた。

7. 光輪会関係者の評価総評

理事会の皆様にも26年度の光輪会の報告をした。「大変努力しているとの評価を頂いた。近隣での評価も高く今後とも子ども達にも、保護者の皆様にも満足いただける運営を心掛けてほしい」との回答を頂いた。

8. 財務状況

別紙光輪会、資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表 参照
会計士より適正に運営で来ていると認められた。